

### 第3回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時：平成30年12月20日（木）

午後1時30分から

場所：弥富市 十四山スポーツセンター  
(第2アリーナ)

#### ○議 事

##### 1.開会

事務局 (伊藤課長)	・ただ今から、平成30年度 第3回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。
---------------	--

##### 2. 弥富市長挨拶

事務局 (伊藤課長)	・はじめに、安藤弥富市長よりご挨拶をいただく。
安藤市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月3日、弥富市長に就任した安藤正明である。よろしく願います。</li> <li>・本日は平成30年度第3回弥富市地域公共交通活性化協議会の開催にあたり、年末何かとご多忙のところ、委員の皆さまにはご出席いただき感謝する。</li> <li>・平素は市の行政に対して格別なご支援、ご協力を賜り、心から感謝する。</li> <li>・きんちゃんバスは平成24年4月から本格運行を開始して以降、毎年運行改善に取り組み、本会議においてご協議をいただき、より良い運行を目指しているところである。</li> <li>・本日の主な議題は、弥富市地域公共交通確保維持改善事業での事業評価についてご協議いただくことになっている。よろしく願います。</li> <li>・委員の皆さまには慎重な審議をお願いすると共に、寒くなってきたのでそれぞれお体をご自愛いただくようお願い申し上げます。</li> </ul>
事務局 (伊藤課長)	・本日の会議資料の確認をさせていただきます。
事務局 (岡田)	<p>会議資料の確認をする。 事前にお送りした資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1：平成30年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価</li> <li>・資料2：平成30年度補助系統別事業評価票（蟹江線）</li> <li>・資料3：バス停の新設・ダイヤ改正について</li> </ul> <p>になる。また、本日席上にお配りした資料として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弥富市地域公共交通活性化協議会委員名簿</li> <li>・配席表</li> </ul> <p>がある。不足等あれば、事務局まで願います。</p>
事務局 (伊藤課長)	・それでは、以降の議事を議長の山崎先生にお願いしたいと思う。山崎先生、よろしく願います。

### 3.議題

#### (1) 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末ということで、だいぶ寒くなってきた。他のまちのことをお話して申し訳ないが、私は公共交通会議に参加して、弥富さんをずっとやらせていただいている。他にも同じ東海道の国道1号線沿いの知立という三河のまちの委員もさせていただいている。</li> <li>・知立での会議で、会場のエントランスに市民の技術作品が飾ってある。小学生の絵が飾ってあり、その中に、知立はきんちゃんバスと同じようなミニバスを走らせていて、ミニバスの絵があった。4年生の絵だが、結構上手に描いてあり、タイトルが「知立市の宝・ミニバス」と書いてあった。子どもたちが、コミュニティバスをそういうふうに捉えてくれるのは、バスの協議会としては嬉しいことだと感じた。</li> <li>・弥富でも子どもたちの中では、ゆるキャラのきんちゃんが描かれたきんちゃんバスが定着していると思う。子どもたちに一度「きんちゃんバスどう思う？」と聞いてみたいと思った。弥富のきんちゃんバスが子どもたちにとって、「宝だ」と言ってくれるようなものになるといいなと思っている。</li> <li>・それでは、議題に入っていく。座って進めさせていただく。お手元の次第に沿って進めていく。本日は、先ほど市長からお話があったように議題として、その他含めて3つある。(1)、(2)共に協議会で協議していただいて、皆さんに承認していただかなければこの先進んでいけないので、よろしく願います。</li> <li>・(1) 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価に関しては、資料1に基づいて皆さんから意見をいただき、ここで承認いただいた後に運輸支局に提出していくことになる。</li> <li>・資料2は、飛島バス蟹江線の事業評価結果である。飛島の蟹江線が地域間をまたぐ幹線系統のバスということで国から補助金をいただいている。ここに繋がるフィーダー路線としてきんちゃんバスが位置づけられている。</li> <li>・それでは、事務局から資料1と資料2に関して、説明をお願いします。</li> </ul>
<p>事務局 (岡田)</p>	<p>○資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について資料1、資料2を基にご説明する。</li> <li>・まず、資料1について説明する。</li> <li>・平成29年10月から平成30年9月までの平成30年度、弥富市においては、「地域公共交通確保維持改善事業」のうち、「地域内フィーダー系統確保維持事業」による補助を受けており、事業・自己評価として、指定の様式に基づいて整理したものとなっている。この事業・自己評価は、来年1月中旬までに愛知運輸支局へ提出することとなっている。</li> <li>・また、資料の1ページ目、2ページ目の様式は国の様式となっており、3ページ目以降のカラフルなページは、中部様式として中部運輸局独自の</li> </ul>

	<p>様式となっており、地域公共交通網形成計画も含めたより全体的で具体的な取り組みなどの状況を評価したものとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 ページ目は事業の評価についてである。</li> <li>・ 記載項目としては、左から①補助対象事業者、②事業概要、③前回の事業評価結果の反映状況、④事業実施の適切性、⑤目標・効果達成状況、⑥事業の今後の改善点となっている。</li> <li>・ ①補助対象事業者は、三重交通（株）となっている。</li> <li>・ ②事業概要は、弥富市内を巡回する 3 路線（北部ルート、東部ルート、南部ルート）を運行し、各ルートとも近鉄弥富駅やイオンタウン、総合福祉センター等の主要な施設にアクセス。また、東部ルートは飛島公共交通バス蟹江線と一部バス停を共有。と整理している。</li> <li>・ ③前回の事業評価結果の反映状況は、「東部ルートの運行改善」と「継続的な利用促進活動の推進」の 2 点を挙げている。</li> <li>・ 「東部ルートの運行改善」では、運行便数を増加させ、利便性向上を図るための運行ルート見直しについてパブリックコメントを実施したが、一部利用者からの反対意見等を尊重し中止にしている。ただ、来年度から 2 ヶ年に渡り、現行の地域公共交通網形成計画を見直し、あわせて運行方法も含めた地域公共交通網の再編を検討することとしている。</li> <li>・ 「継続的な利用促進活動の推進」では、利用者アンケート案内文にきんちゃんバスの情報等を掲載、イベントの場を活用した周知活動を実施、無料お試し乗車券の配布などの実施について記載している。</li> <li>・ ④事業実施の適切性は、計画通り、モニタリング調査（利用者アンケート）を実施し、できる限り利用実態やニーズの把握に努めていること。また、協議会を計 3 回開催するとともに、広報誌や市 HP、イベントの場等を活用した情報提供に努めており、適切に実施していることを踏まえ A 評価としている。</li> <li>・ 評価基準については、A 評価は事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された・されているということになっている。</li> <li>・ 「⑤目標・効果達成状況」については、「満足度の向上」と「1 便あたり乗車人員の増加」という 2 つの目標を掲げていた。</li> <li>・ 「満足度の向上」については、具体的には満足度 50%以上の維持を数値目標としており、モニタリング調査の結果から 53.1%と、前年度の 60.0%よりも減少はしているが、目標は達成しており、A 評価としている。</li> <li>・ また、「1 便あたり乗車人員の増加」については、具体的には前年度からの増加を数値目標にしており、北部ルートは増加しているため A 評価、南部ルートは減少しているため B 評価、東部ルートは増加しているため A 評価とし、全体の評価は一部未達成ということで B 評価としている。</li> <li>・ 「⑥事業の今後の改善点」については、「地域公共交通網の見直し・再編」と「継続的な利用促進活動の推進」の 2 点を挙げている。</li> <li>・ 「地域公共交通網の見直し・再編」では、東部ルートの見直しが中止にな</li> </ul>
--	---

	<p>ったほか、満足度や一部ルートの利用者数が伸び悩んでいることを踏まえ、現行の地域公共交通網形成計画を見直し、あわせて運行方法も含めた地域公共交通網の再編を検討すること。シンポジウムや地域意見交換会等を開催し、公共交通について考えるきっかけづくりもあわせて実施することとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、「継続的な利用促進活動の推進」では、市 HP や広報等多様な媒体を活用した継続的な周知のほか無料お試し乗車券など利用促進活動を推進することとしている。</li> <li>・続いて 2 ページ目、地域公共交通の目指す姿としては、網形成計画で示した基本方針「市民生活と地域を支える持続可能な地域公共交通の確保・維持」について記載している。</li> <li>・3 ページ目以降は中部様式 1 として、自己評価の概要を整理したものとなっている。こちらは、先ほどの 1 ページ目の内容を補足するような形で、少し詳細に整理したものとなっている。ここで、申し訳ないが記載に誤りがあったので訂正をお願いする。 左上の平成 29 年度を平成 30 年度と修正お願いする。</li> <li>・4 ページ目には、「1. 協議会が目指す地域公共交通の姿」ということで、地域の特性や総合計画・都市マスでの位置づけの内容、網形成計画での内容について整理している。</li> <li>・次に 5 ページ目である。</li> <li>・「2. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容」では、上段の枠内で主な取組み内容について記載している。</li> <li>・ニーズに即した運行改善の検討については、先ほどもご説明した東部ルートや地域公共交通網の見直し・再編について記載するとともに、後ほどの議題 (2) でも議論していただく、北部ルート、東部ルートにおけるバス停の新設、ダイヤの検討について記載している。</li> <li>・また、情報提供等周知活動の実施においては、利用者アンケート案内文への情報掲載や、イベントの場を活用した情報提供等の周知活動を実施した点を、無料お試し乗車券による新規利用者の掘り起しにおいては、新規利用者を 84 名掘り起こし、うち小学生が 3 割であったこと、約 9 割の方に今後の利用意向があったことを記載している。</li> <li>・枠の下部には、きんちゃんバスの年度別利用者、利用者年代構成、福祉タクシー料金助成事業の利用状況について整理している。</li> <li>・次に 6 ページ目である。</li> <li>・「3. 計画の達成状況の評価指標とその結果」では、先ほどの国の様式でも説明した 2 つの目標、「目標 1: 利用者満足度の向上」「目標 2: 1 便当たり平均乗車人員の維持・増加」について記載している。</li> <li>・次に 7 ページ目である。</li> <li>・「4. 自己評価から得られた課題と対応方針」についても、先ほどの国の様式でも説明した 2 つの事項、「地域公共交通網の見直し・再編」と「継続的な利用促進活動の推進」について記載している。</li> </ul>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に、8 ページ目以降は、中部様式 2 となっている。</li> <li>・まず 9 ページ目の「1. 直近の第三者評価の活用・対応状況」についてである。</li> <li>・今年の 2 月 21 日の第三者評価委員会で弥富市のきんちゃんバスについても評価を受けているので、その結果を一番左に 2 つ記載しており、それに対応するように、反映状況、今後の対応方針について記載している。</li> <li>・1 つめの事業評価結果として「平成 28 年 12 月より全ルートが海南病院に乗り入れたことをはじめ、東部ルートと地域間幹線の飛島公共交通バスの乗継ダイヤの調整、バス停の新設など、より利便性の向上を図っていることを評価する。」という評価を頂いている。</li> <li>・これに対し、「地域住民からの強い要望を踏まえ、利便性向上を図るために、既存ルート上へのバス停の 2 箇所新設を協議」したことを記載している。</li> <li>・また、今後の対応方針として、弥富市地域公共交通網形成計画の見直しに着手し、あわせて運行方法も含めた地域公共交通網の再編を検討することとしている。</li> <li>・2 つめの事業評価結果として「今後もモニタリング調査（利用者アンケート）や利用実態調査、OD 等各種調査を実施した上で、東部ルートについて、十四山総合福祉センターや弥富市役所等中心部への利用が多いなどの利用特性を踏まえ、運行ルートを改善し、あわせて地域間幹線系統である飛島公共交通バス蟹江線とのさらなる乗り継ぎ改善を図ることを期待する。」という評価を頂いている。</li> <li>・これに対し、「今年度も利用実態調査やバス停乗降者数調査、モニタリング調査、利用者アンケート調査等の各種調査を実施し、東部ルートの運行ルート変更パブリックコメントを実施した」ことを記載している。</li> <li>・また、今後の対応方針として、「弥富市地域公共交通網形成計画に即し、事業や調査を今後も継続的に実施」すること、「弥富市地域公共交通網形成計画の見直しに着手し、あわせて運行方法も含めた地域公共交通網の再編を検討」することを記載している。</li> <li>・次に 10 ページ目である。</li> <li>・「2. アピールポイント」については、「観光と連携した利用促進活動の実施」として、弥富市広報 8 月号においてきんちゃんバス特集を組み、きんちゃんバス路線図をベースに市内のみどころや「やとみスイートハートプロジェクト」に参加しているスイーツ店の位置を紹介するとともに、無料乗車券の配布を周知し、利用のきっかけ創出の取り組みについて記載している。</li> <li>・次に、資料 2「平成 30 年度 補助系統別事業評価票（蟹江線）」について説明する。</li> <li>・これは地域間幹線系統である飛島公共交通バス蟹江線の事業評価となっており、愛知県のバス対策協議会で評価をとりまとめ、国に提出するこ</li> </ul>
--	--

	<p>とになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蟹江線の評価としては、「2. H30年度の運行状況」において「計画どおり運行されたか」「目標・効果達成状況」とともにA評価、うら面の「3. H30年度の取り組み状況」においてもA評価とされている。</li> <li>・「4. 今後の課題」においては、「朝夕通勤・通学時間帯における乗降客のピーク時に、満車に近い状況となっており、将来、積み残しが発生する懸念がある」としている。</li> <li>・また、弥富市においては、「きんちゃんバスの利用者数は増加傾向を維持しているものの、蟹江線との乗り継ぎ利用者は少ない状況にあるため東部ルート運行の見直しや乗り継ぎの周知方法等の検討の必要がある。」としている。</li> <li>・次に「5. 今後の取組」においては、平成31、32年度に「毎年利用者が増加している。平成30年度に利用者アンケートを実施し、次期交通網形成計画を策定する。」、中長期的に「詳細は未定であるが、車両の更新時期に向けて現在運行している3台からさらに増車する必要があるか検討していく。それに合わせ、ICカードシステムの導入も検討する。」としている。</li> <li>・弥富市においては、「蟹江線を含んだ利用者アンケートやOD調査等の各種調査を実施し、その結果を踏まえ、次期交通網形成計画に合わせて運行改善を実施する」、中長期的に「蟹江線が運行している飛島役場への南部ルートの乗り入れの検討や、きんちゃんバスと蟹江線との乗継券発行の検討を実施する予定」としている。</li> </ul> <p>・長くなったが、以上で議題（1）平成30年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価についての説明を終わる。</p> <p>・ご審議のほど、よろしく願います。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ今説明いただいた資料の中で、資料2、蟹江線の評価に関しては、飛島さんから県に提出されて、県の方で取りまとめているという事である。この場では報告になる。</li> <li>・蟹江線の評価に関して、飛島さん、あるいは愛知県さん、何か補足があれば願います。</li> </ul>
安藤委員 (愛知県交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県振興部交通対策課の安藤である。ご説明感謝する。</li> <li>・資料2について、あえて補足をさせていただくと、住民の利用状況のところで、実際に乗られている方の率直な意見、率直な評価を記載させていただくことを愛知県としては望んでいるので、アンケート結果はもちろん十分であるが、委員の皆さまも普段使われていて、「こうした方がいい」「ああした方がいい」「ここ良くないな」というご意見があれば、ぜひ生の声を事務局さんに届けていただければありがたい。皆さままで協力いただき、この評価票を完成していただきたいと思う。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛島さんはよろしいか。</li> <li>・弥富市の協議会として自己評価を行った資料1で、何かご意見・ご質問</li> </ul>

	<p>等あればお願いしたい。いかがか。</p>
<p>杉本委員 (愛知運輸支局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運輸支局の杉本である。ご説明感謝する。</li> <li>・事務局から説明があったように、1、2ページは本省様式、3ページ目以降が中部様式である。中部運輸局だけ全国に先がけてという訳ではないが、補助系統だけではなく全体の評価をする必要があるのではないかとということで中部様式を当初から導入して、事務局の方にはご負担をかけている。</li> <li>・最終的には市民の方の目に通ることになると、どんな計画で、どんな目標でもってやっているのか等、すぐに見て取れることになるので、そういった面でご負担をかけている。中部様式のエキスが本省様式に入っているとご理解いただきたい。</li> <li>・本省様式のところにも、中部様式のところにも関連してくるが、モニタリング調査による満足度は当初(昨年)の目標が60%だった。それが53%に減ったが、満足度自体は50%以上と目標は達成した。</li> <li>・満足度を評価するのは難しい部分はあるが、減ったところの部分については「目標が達成したからよかったね」ではなく、これから調査等もしていただいて、次年度、次々年度の2カ年で再評があるので、こういったところの分析もしっかりしていただきながら、気を抜くことのないよう対策を講じていただきたい。</li> <li>・中部様式でいくと3ページ、全体でいくと5ページになるが、取組み内容のDoのところ、内容として3つある。その下に福祉タクシー料金助成事業ということで、網計画にこういった事業をやっている、あるいはやるということで記載があるのであれば、取組み内容の中にも取り入れながら、この内容に対して結果どうだったのかそういったチェック、方針があればそういったものにもつなげていただければと思う。</li> </ul>
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今2点、お話があったかと思う。満足度の話と、5ページの福祉タクシーのグラフが突然出てきていることに関して、事務局お願いします。</li> </ul>
<p>事務局 (伊藤課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料6ページの満足度は、右の吹き出しに載っているが、29年度は3路線とも海南病院に乗り入れできるようになったことで、皆さんの満足度がだいぶ評価していただいたと解釈している。28年、27年、26年と見ると、順に満足度が向上してきているので、前回の29年度の満足度がちょっと突出してしまったのかなと解釈している。</li> <li>・二点目だが、福祉タクシーの事業について、もう少し内容を組み入れたらどうかということだが、こちらについては善処したいと思う。</li> </ul>
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、事務局からご説明いただいた通り、最初のページの本省様式はあまり細かいことは書ききれないので、中部運輸局の中部様式の6ページに掲げている通り、29年度の満足度が異常ではないが高かったということである。この理由として、事務局では海南病院乗り入れということが行われたため、ここでぐっと満足度が29年度だけ上がったのではないかとということである。29年度を外してみると徐々に上がってきていることもあって、満足度はよろしいのではないかとということである。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ、先ほど杉本さんからご指摘があったように、満足度を使った評価というのはなかなか難しいところがある。弥富の場合は50%以上を維持しているので大丈夫と思う。青天井で上がっていく数値ではないので、そこを気をつけて、何によってこういう変動があったのかをきちんと把握していくことだと思う。</li> <li>・福祉タクシーの話は確かにご指摘にあったように、このグラフが唐突です。少し考えていただきたい。</li> <li>・他にいかがか。</li> </ul>
福田委員 (民生・児童委員 協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30年度だが、他のところは上がっているのに、南部ルートだけがずいぶん減っていると思うが、何か事情があるのか。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の数が減っている。事務局、いかがか。</li> </ul>
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部ルートは北部ルート、東部ルートと特性が異なり、通学・通勤にご利用されている方が多い路線である。実は、3年ほどの栄南学区、大藤学区の人口推移を見るとだんだん減少している。通学に使われている方が少し減ったのではないかと分析している。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よろしいか。人口が少し減っている。</li> </ul>
福田委員 (民生・児童委員 協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部ルートを利用される地域に住んでいらっしゃる方で、駅前の塾へ送り迎えするのに遅くまでやってほしいという要望を前に挙げたと思うが、最終バス(塾の終わる時間)の利用状況はどうか。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局、何かあるか。</li> </ul>
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、手元に資料がなくて申し訳ない。南部ルートの最終便について、利用状況としてはあまり上昇していないと分析している。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか難しいところだが、運行する時間を延ばすということは走らせてくれている事業者さんにとって、例えば運転手をもう一人増やさないといけないとか、お金(運行経費)が上がる。夜の10時ぐらい…9時とかそれぐらいかな、そこまでやるとなると、ただ塾に行った子たちの為だけに運行できるかどうかをきちんと判断していかないといけない。もし、そういう遅いバスを1本設定することによって、通勤あるいは他の目的で駅から帰ってくる人たちの利用が確保できることが見込まれるのであれば走らせるという判断もありかなと思うが、ちょっと慎重にやらないといけない。</li> <li>・塾に通う子どもたちに使ってもらおうとすると、親の負担を考えると、行きは「バスで行きなさい」と子どもにバスで行かせて、帰りは「お母さんが迎えにいったあげる」「お父さんがちょうど帰ってくるから迎えにいったあげる」とか、いろんな交通手段を混ぜて使っていくようなことを市民の方が考えてくれるといいかなとは思う。</li> </ul>
福田委員 (民生・児童委員 協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行きは自分も仕事から帰ってきて送っていけるが、帰りの時刻は夕食などの準備で迎えに行くことが不便だからというお答えであった。利用もないならもったいないことなのでいいが、一応、そういう事情で増やしてほしいということであった。</li> </ul>

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そういった意見があるということで、今後の改善で、そういう視点で改めて調査をしていくということも考えていただきたい。</li> <li>・他によろしいか。</li> <li>・それでは、資料1：地域公共交通確保維持改善事業・事業評価に関して、ご審議いただきたい。事務局と運輸支局さんに指導いただきながら、細かい修正等については事務局に一任していただくということで、こういった形での評価を提出していくことに承認いただける方は挙手をお願いします。賛成いただける方は挙手をお願いします。</li> </ul>
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・承認されたので、事務局で手続きを進めていただきたいと思う。よろしくをお願いします。

### 3.議題

#### (2) バス停の新設・ダイヤ改正について

山崎議長	・議題(2) バス停の新設・ダイヤ改正について、事務局より資料3の説明をお願いします。
事務局 (岡田)	<p>○資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停の新設・ダイヤ改正について資料3を基にご説明する。</li> <li>・第1回協議会でご議論いただいた、白鳥保育所、佐古木の2つの新たなバス停の設置について、ダイヤ案を検討している。</li> <li>・また、東部ルート竹田バス停においては、コンビニエンスストア立地に伴うバス停の移動を実施したいと考えている。</li> <li>・なお、これらの変更による運行ルートや料金体系の変更は、現行のままとし、変更はない。</li> <li>・また、このバス停の新設や、現在の運行の遅延状況を踏まえたダイヤ調整もあわせて検討したいと考えている。</li> <li>・まず、「1. 概要」についてである。</li> <li>・黒字の部分は第1回協議会で提示させていただいた内容で、青字の部分が今回新たに追加した事項である。</li> <li>・「①ダイヤ改正を伴わない事項」として、東部ルート竹田バス停の西進方向を、コンビニエンスストアの立地に伴い、10m程度西に移動したいと考えている。</li> <li>・具体的な場所は、2ページ目の上段の航空写真の図をご覧ください。</li> <li>・既に警察やバス運行事業者、地権者、道路管理者との事前確認は実施済となっており、今回協議会で承認を得たら、速やかに移動する予定となっている。</li> <li>・次に1ページ目に戻っていただき、「②ダイヤ改正を伴う事項」である。</li> <li>・ダイヤの改正は来年度の4月1日を予定している。</li> <li>・国道1号沿道の服部整形外科皮膚科前の佐古木バス停について、第1回協議会では北部ルートの西進のみの停車としていたが、同様にこの区間を運行する東部ルートについても、通院利用に対応し、利便性を向上させるため、西進のみの停車をさせたいと考えている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐古木バス停付近の運行ルートやバス停の位置は、3 ページ目の図面をご覧ください。</li> <li>・なお、東進方向については、バス停が設置できる安全なスペースが確保されていないことから、バス停の設置が難しい状況となっている。</li> <li>・次に、「3. ダイヤ案」についてである。</li> <li>・今回のバス停の新設は、現行のルート上で実施するため、ダイヤへの影響は少なくなっている。また、バス事業者からの要望も踏まえ、平常時における現在の遅延状況も踏まえダイヤを変更したいと考えている。</li> <li>・4 ページ目、5 ページ目を見開きでご覧ください。北部ルート平日のダイヤとなっている。</li> <li>・左側の 4 ページ目は現在のダイヤ、右側の 5 ページ目は改正後のダイヤ案となっており、ピンク色が増加バス停、黄色がダイヤが変更される箇所となっている。</li> <li>・停車バス停は、左回りで「白鳥保育所」の 1 箇所増、右回りで「白鳥保育所」「佐古木」の 2 箇所増となる。</li> <li>・運行ルートや各便の出発時間に変更はない。</li> <li>・始点から終点までの所要時間は+3 分となる。</li> <li>・6 ページ目、7 ページ目は土曜日ダイヤとなっている。</li> <li>・平日と同様となっているが、所要時間は+1 分と小さくなっている。</li> <li>・次に東部ルートについて、8 ページ目、9 ページ目をご覧ください。平日ダイヤとなっている。</li> <li>・停車バス停は、左回りで「佐古木」の 1 箇所増、右回りでは変更はない。</li> <li>・また、運行ルートや各便の出発時間、所要時間に変更はない。</li> <li>・10 ページ目、11 ページ目は土曜日ダイヤとなっている。</li> <li>・平日と同様に、各便の出発時間、所要時間の変更はない。</li> <li>・なお、南部ルートについては、変更なしとなっている。</li> <li>・以上で、説明を終わる。</li> <li>・ご審議のほど、よろしく願います。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ今説明いただいた、バス停の新設・ダイヤ改正についてである。第1回の協議会で白鳥保育所、佐古木の2つのバス停は承認いただいているが、あわせてダイヤが今日提示された。それに加えて、少し変更があるということである。</li> <li>・全体、どんな部分でも結構なので何かご意見、ご質問等あれば願います。いかがか。</li> </ul>
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募委員の佐野である。</li> <li>・いつも同じようなことを質問して申し訳ない。以前、馬ヶ地バス停を移動してほしいというお話をさせていただいたが、新たにもう一ヶ所新設ということはしていただけないか？</li> <li>・神戸の方のお友達の話で、神戸は偕行会のあたりにバス停があつて、東の方はバス停がないから困るという話を聞く。あちらの方も新設していただきたいということを知っている。</li> </ul>

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、議題に挙がっている部分ではなくということである。事務局、願います。</li> </ul>
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年だったか、馬ヶ地のバス停のお話をいただいて、その際に、地域の総意で地区より申請というか要望をお願いしていただきたいと申し上げているので、この場ではできるといような議題ができなくて申し訳ない。</li> <li>・同様に、神戸についてもやはり地元の総意をいただいて、この場で協議をしていただくことになるので、大変申し訳ないがよろしく願います。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募委員さんとして出てきていただいているので、事務局としては公募委員さんからこういう意見が出てきたということをきちんと把握しておいた上で、地域（地元）の方々から地区の中できちんと意見をまとめて、事務局に要望して、この協議会で議論するというステップで願います。</li> <li>・議題に挙がっている新たなバス停の新設・ダイヤ改正に関して、何かご意見・ご質問等、他にいかがか。</li> </ul>
杉本委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部ルート竹田バス停はコンビニエンスストアさんができるといことで出入りに支障があるからという話だが、上手いことコラボレーションして、中でまわせるような形にはなかなかやりづらいのか、好き嫌いのお話になるので、コンビニさんとの了解等が必要になってくる。もし、そういったことも可能であれば、検討いただければと思う。</li> <li>・場所によっては、コンビニさんの了解のもとで、そこへ乗り入れて少しでも雨風が防げるような形で待っていただけるような対策もしているところもある。難しいところではあるが、少しご検討いただければ、待ち合いの利便性の向上にもなるのかなと思う。</li> <li>・ダイヤ改正で、連続運転とか運転時間に支障が出るのか、そういったところで例えば、左回りでいくと北部ルート2番の9時半が総合福祉センターで10時48分、そのまま11時の北部4に切り替わるのではないかなと思うが、そういった部分で12分しかないの、少し遅れると10分きるような形になる。そこら辺の事業者との調整など、どうなったのかということだけ改めてご説明いただければと思う。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局願います。</li> </ul>
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイヤ改正案については、三重交通さんの方からダイヤ案についてご提示いただき、こちらの方で中を確認させていただき、運行時間等については最終的に何度か事業者と確認をとらせていただいて、今回この案に出させていただいているので大丈夫だと現段階では思っている。</li> </ul>
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニの駐車場の件だが、民地ということもあり、参考とさせていただきたいという答えにさせていただきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重交通さん、ダイヤに関して補足等あれば願います。</li> </ul>
小黒委員 三重交通（株）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重交通である。いつも大変お世話になっている。</li> <li>・先ほどご指摘の4時間連続運転については、弊社の勤務交番の中でクリアしているので、この点はお心配いただくことなく結構である。ただ、北部ルートについても所要時間が1時間20分程度あり、今ご指摘のターミナ</li> </ul>

	<p>ルの時間、これがバス停の新設とか、あるいはダイヤの遅れとかにより休憩時間が削れていく懸念はある。4時間連続運転はクリアはするものの、今後新たなバス停の新設とか、あるいは何かしらの遅れとか、こういったものが出てきた時にはダイヤのご相談は弊社からさせていただきたいと思うので、よろしく願います。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よろしいか。はい、願います。</li> </ul>
楠委員 (愛知県交通運輸産業労働組合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県交通運輸産業労働組合の代理で来ている楠である。</li> <li>・要望だが、東部ルートの新設のバス停のところを見ていただくとよくわかるが、バス停がひとつ新設されているのに乗降の時間がとられていない。この先また遅れていくことにもなるし、こういうのは今後やめていただきたいと乗務員側から言われているので、よろしく願います。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部ルートの新設の部分でダイヤが考慮されていないということである。佐古木の西進のみの部分である。事務局、願います。</li> </ul>
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご要望ということで、三重交通さんともご協議をさせていただきながら、次回、路線だとかルートだとか、バス停の新設だとかそういったことがあった時にあわせて修正をさせていただく。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の話を今回反映させるのは可能か。ダイヤを実際に検討いただけるのは三重交通さんだと思うが、乗務員さんの声として、例えば1分ここにあった方がいいというようなことであるが。</li> </ul>
楠委員 (愛知県交通運輸産業労働組合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行ダイヤを見ていただくとわかるように、佐古木駅からピアゴ十四山までは5分である。18分に着いて23分。新しいダイヤを見てもらうと、18分に着いて23分ということはバス停が新設されているにも関わらず一緒ということである。ということは、乗降に要する時間は考慮していないということである。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重交通さんと一緒に一度確認していただきたい。</li> <li>・乗務員さんのストレスが溜まっていくような状況はよくないと思うので、可能な限り現場の声は取り入れていった方がいいと思う。今回、もしできるなら、検討していただきたいと思う。</li> <li>・他によろしいか。</li> <li>・事前に事務局さんにはお伝えしてあるが、この協議会でもきちっと言うとおこうと思う。今の新設されるバス停は国道1号線上にあるということで、片側しか設けられない。西に向かう方向のみしか乗降できないというバス停なので、特殊である。そこを十分に利用者の方々に広報していただきたい。例えば、服部整形外科を利用される方がここで降りた時に、帰りは反対向きに乗りたくて渡ったけどバス停がないみたいな話になると困る。そのあたりきちんと広報をしていただきたい。</li> <li>・それでは、バス停の新設・ダイヤ改正に関して、先ほどご指摘いただいたダイヤの細かな修正が少しあるかもしれないが、そこは事務局と運行事業者さん一任ということで、ご承認いただける方は挙手をお願いする。</li> </ul>
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全会一致で承認された。事務局で手続きを進めていただきたい。</li> </ul>

### 3.議題

#### (3) その他

山崎議長	・議題(3)その他について、事務局から何かあるか。
事務局 (伊藤課長)	・特にない。
山崎議長	・いつも市民代表の方には一言ずついただいている。三矢さん、ご発言がなかったもので、何でも結構なので一言お願いします。
三矢委員 (福寿会連合会)	・いろいろなデータを紙1枚にまとめていただく、見たところはそれだけのことにもみえるが、実際にはそれに至るまでにそれぞれの部署の皆さんが大変ご尽力いただいた結果である。1枚、1枚が非常に重みがあるように感じる。73以上とかいろいろ制限のしかたはあるけれど、私どもの仲間がお世話になっていると言っても決して過言ではないと思うところである。贅沢を言えば、それぞれ利用者はもっと間隔が狭ければいいとかということもあるが、とにかく我々のために市の公共バスとして運用していただいているので、もちろん時間の間隔が狭くなったりすれば良いに違いないだろうけど、名古屋の市バスのことを思ってもらっては無理であると笑っている。仲間がお世話になりながら、いろんなことで十分なお役にも立てずに申し訳ないような一面もある。皆さん方に前向きにご利用いただくような方向で、年寄連中としては考えてまいりたいと思う。
山崎議長	・他に全体を通して、何かご意見等あればお願いします。
多田委員 (名古屋タクシー協会)	・名古屋タクシー協会の多田である。 ・前回、11月の協議会でも同じことを言ったかもしれないが、重複する部分のご容赦いただきたいと思う。 ・今回、市長さんも就任されているので、私ども名古屋タクシー協会の取り組みをご報告させていただきたいと思う。すでに愛知運輸支局さんから市の事務局の方には、市が抱える交通課題、こういったものの調査票の記載をお願いしている。これだけではないが、いろんなものを総合的に判断して、その中でタクシーがどのような形で地域の足の確保に貢献できるかということ、私ども名古屋の交通圏、全部で17市町村あるが、全部の自治体さんをお願いをさせていただいている。 ・今後、東部ルートの見直しの中で、何ができるかということを考えていければと思う。その過程において、課題シートだけでは十分な情報は得られないかもしれないので、地域の皆さん方と直接お会いしていろいろお話を聞いていく。ぜひそういう時には、市長さんの面談もあわせて考えていきたいので、よろしくをお願いします。
山崎議長	・タクシーも十分活用して、住民の足をしっかり確保していくということである。 ・今、お話にあった市町村への調査は実施されているのか？
多田委員 (名古屋タクシ	・調査中である。

一協会)	
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 了解である。しっかり調査して弥富市の課題を明らかにしてほしい。</li> <li>・ 他にいかがか。</li> <li>・ 議題はこれですべてである。</li> <li>・ 事務局にマイクを返す。</li> </ul>
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連絡事項であるが、次回協議会は3月末を予定している。日程が決まり次第、ご案内させていただくので、よろしく願います。</li> <li>・ 以上をもって、平成30年度第3回弥富市地域公共交通活性化協議会を閉会する。今後ともご協力賜るようお願い申し上げます。</li> </ul>
	以上